

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2021. vol. **29**
Take Free

ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

えがおが
いっぱい
はちまんたい

- 09 地域おこし協力隊の「気になる八幡平」
- 10 八幡平に生きる人
- 12 八幡平あっちこっち
- 14 ハチクラ通信
- 16 ピッキーと行く八幡平



1「食育かるた」でかるた大会。2 優しいイラストばかりの絵札。3 NPO法人七時雨いきいきネットワークの工藤忠義理事長。4 小野寺陽子事務局長。5 キャベツをちぎる係は低・中学年。6 ロールパンにキャベツとコロックを挟む。7 おいしい食育は、子どもにとっても楽しい思い出に。8 食育を通して、感謝する心も学ぶ。

食を通して生きる力を育む

自分たちで作って食べる その喜びが**未来の糧**になる

田頭学童保育クラブ 八幡平市田頭19-43

NPO法人七時雨いきいきネットワーク 八幡平市上関4-54-3 TEL 0195-77-2750

八幡平市内には、働く保護者のために小学生を預かる学童保育クラブが13カ所ある。そのうちの8カ所をNPO法人七時雨いきいきネットワークが運営している。八幡平市は広く地域によって事情や条件が異なるため、活動内容は変わるが、最も力を入れてるのは「食育」を通した児童の心の育成である。同法人の小野寺陽子事務局長はいう。

「食は生きる基本。自分たちで野菜を育て、収穫する喜びを感じ、食べ物に感謝していただくこと。食と健康を考えることは、次世代を受け継ぐ子どもたちにとって大切と思うのです」

コロナ禍もあり頻繁に行えないが、子どもたち自身でおやつ作りをしている。この日の田頭学童保育クラブでは、コロックパンと豆腐の味噌汁。自分たちで作った料理をおいしそうに食べて、「家に帰ったら、夕ご飯も

「食育かるた」を作り
郷土料理を伝える

えがおがいっぱい はちまんたい

今号の「ハチクラ」は、まるごと1冊「子どもと笑顔」。
子どもの笑顔があふれるまちは、希望や夢があるまちといわれる。

八幡平市には、子どもが笑顔で過ごすために、
地域とともに活動している人たちがいる。

新型コロナウイルス対策をとって、取材・撮影を行っております。演出上、マスクを外した人物の写真があります。ご了承ください。



6



4



2



1



8



7



5



3

1 ひなまつりのお茶会。菓子を手主役の男の子が運ぶ。2 子ども用に薄めた茶をいただく。3 ホールの壇上には子どもたちが手作りしたひな人形。4 年長組のリズム体操。5 作ったひな人形を家に持ち帰って飾る楽しみもある。6 リズム体操で、しなやかな体をつくる。7 園からの保護者への連絡ツールとして、スマートフォンのアプリ「キッズノート」を使っている。8 杉の子保育園の遠藤武敬園長。

社会福祉法人杉の子会 杉の子こども園

八幡平市大更18-315
TEL 0195-76-3345
<https://www.wtep-suginokokai.com>

茶をいただく。いつも元気にぎやかな園児も、お茶会の時間は静かに過ごす。リズム体操も早くから取り入れている。保育士が弾くピアノに合わせてバランスを取ったり、ジャンプしたり、走ったり。体幹を鍛える効果もあり、年長になると側転もできるようになるというから驚きだ。

遠藤武敬園長は「お茶会やリズム体操など、子どもたちいろいろな体験をさせたいのです」という。

「その中から自分が得意なこと、好きなことを見つけて、その力を伸ばしていければと考えています」

これらの様子は撮影され、スマートフォンアプリ「キッズノート」を使って保護者に配信される。園だよりなどのお知らせも配信するようにし、保育士がプリントを用意する時間を削減。その分、園児と過ごす時間が増えたと保育士からも好評である。



子どもの力と心を育む

秘めた可能性を見つけ 子どもを笑顔に

残さず食べるよ！」と笑う。

食育の一環で八幡平市版「食育かるた」も製作した。読み句は学童保育クラブの児童・保護者から募集し、608句の中から八幡平市らしい46句を選んだ。絵札は指導員が描いたという。

「苦いけど春をかんじるばっけみそ」

遊びの時間、工藤忠義理事長が読み句を朗々と読み上げる声が響く。子どもが絵札を取り、歓声が起こる。賞品が出る大会は、特に盛り上がるという。

たくさん体験して
得意なことを見つける

食育のほか、お茶会やリズム体操、お絵かきなど、たくさん体験をさせているのが杉の子こども園である。

50年間も続いているのが、月1回開催されるお茶会。園児は毎月浴衣、保育士は年一回着物で参加し、表千家の所作に則って席につき、菓子と



岩手県民の森のみんなの広場は、八幡平市の桜名所のひとつ。ピクニックや散策に訪れる家族連れも多い。

ワクワクが
とまらない
ぼくらの秘密基地

岩手県民の森
森林ふれあい学習館 フォレスト i

八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL 0195-78-2092

開館時間/9:00~16:00 ※木工体験最終受付15:00

休館日/火曜(祝日の場合は開館、翌日休み)、年末年始

<http://www.kenminnomori.com>



2



3



1

1 エントランスホールの巨木。2 大人も童心に返って、木製けん玉遊び。

3 県民の森の園内で拾った木の実で木工体験。



子どもと楽しむ八幡平

広大な森林公園で
楽しみながら「木」を学ぶ

晴れの日も雨の日も
遊べる学習館

八幡平市内には、子どもとお出かけできるスポットが多い。岩手山の北麓に広がる岩手県民の森は、広大な敷地内に自然観察や散策ができる公園、自然を学ぶ学習館などがあり、のびのびと遊ぶことができる。雨の日でも過ごせるのが、森林ふれあい学習館「フォレスト i」だ。建物は岩手県産の木材を使って建てられており、中に入ると心地よい森林の香りが漂ってくる。エントランスホールには樹齢約百年を経た巨木が立ち並び、樹皮をじっくり観察したり、抱きついて太さを確かめたりできる。

展示室の中央で存在感を誇っているのが、子どもたちに大人気のアスレチックジム「ぼくらの秘密基地」だ。それを取り囲むように森の木々や環境を学ぶ展示物があり、遊びながら知識が得られるようになっていく。

地域おこし
協力隊の
気になる
八幡平

八幡平市の各エリアで活動している地域おこし協力隊。彼らが感じたまちの魅力、皆さんに勧めたいものなどを紹介。

冬は仲間とのスノーシュー。

ロッジタンデムは、ワーケーションにもお勧め。

オフタイムには、ロッジタンデムの看板犬チャムと遊ぶことも。

第8回 安比高原 編

雪国の冬が「楽しみ」へと変わる

文／渡邊清大

2018年3月にプログラミング合宿「スパルタキャンプ」に参加するため、初めて八幡平市にきました。八幡平市に到着した日、数年に一度の猛吹雪が起きており、ホワイトアウトによって宿泊場所である安比高原のメゾンに到着するまでも困難でした。その時は、関東の穏やかな冬の中で過ごしてきた私は「このまちには住めないな」と考えていました。

しかし、不思議なことに、現在、私は安比高原エリアにある「ロッジタンデム」に住んでいます。学生時代、コンクリートに囲まれた東京で生活していた私には、木々に囲まれ、そばには小川が流れているロッジタンデムの環境がとても魅力的に映りました。あんなに怖かった冬も、今ではスノーシューやスノーボードができる楽しい季節に感じています。人間の適応力には驚かされますね。ロッジタンデムの看板犬であるチャムちゃんとのじゃれあいも生活の楽しみのひとつです。

■ 安比高原

1年を通してアウトドアが楽しめる安比高原。スキーシーズンが終わり、雪解けが始まると木々や高山植物が芽吹き、春の散策のシーズンを迎える。

渡邊清大(わたなべ きよひろ)

千葉県八千代市出身。バスケットが好きで、元千葉県代表選手。ルワンダとの国際交流を担当している。



1 スタッフのアハット・ママトさんのサポートを受けて創作スタート。万華鏡の筒に色紙をきれいに貼るためにはちょっとした工夫が必要。
2 ハサミを持って一気に集中！3 でき上がりを想像しながら器の中に小物を配置。4 色砂を器に入れて、ジェルキャンドル作り。



子どもと楽しむ八幡平

難しいはおもしろい 創作体験にチャレンジ!

自分でできた!
達成感が笑顔に

1年中アウトドアが楽しめる安比高原。ホテル内で楽しめるアクティビティもあり、10種類以上あるメニューの中で、小さな子でも挑戦できるのが、森の万華鏡とジェルキャンドルである。指導スタッフのアハット・ママトさんは、「どんなものでも自分で体験して、難しさもおもしろさも知ることが大切」と、子どもたちのチャレンジを見守り、少しでも手助けをする。自分で考えて工夫して完成させたときの子どもの笑顔は最高。思い出づくりに世界でただひとつの作品を作ってみては。

イーハートヴォ 安比高原自然学校

八幡平市安比高原
ホテル安比グランド内
TEL 0195-73-6228
開催期間／5月5日(水・祝)まで
受付時間／10:00～17:00
(最終受付)

※予約不要、席数に限りがあります
お待ちいただく場合があります
<https://www.appi.co.jp/>

八幡平に生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、
いろんなことを考えている。

共通するのは、

「こつて、いいまちだよな」。

暮らしてこそわかる、

八幡平の魅力とは――。



顔を合わせたり、目を合わせたりする
コミュニケーションは、つながりを感じ
ていることを伝え合う体験となる。

八幡平市平館で工房「tamari窯」を営む高村まりさんは、陶芸作家として作品づくりをしながら、日々、子育てもしているママでもある。

陶芸の道に進んだのは、岩手県立不来方高等学校芸術学系美術・工芸コースに在籍中に陶芸室に足を運んだのがきっかけだ。初めて触る粘土の感触が、おもしろくて、楽しかった。当時、好んでつくったのは大きな作品で、前衛的なデザインが多かった。しかし、陶芸で生計を立てようと決意してからは変化した。現在は、色合いが流れるように変わるカップや中鉢、かわいいアルパカや花が描かれた皿やごはん茶碗など、ほっとする優しいもののばかりである。

高村さんは昨年5月、長男・幸之介君を出産した。3月までフルタイムで働き、産後2カ月から工房を再開。就業時間の9時から17時までは、工房の隣にある実家で両親に預かってもらう。

子育ても創作も 楽しみたい

tamari窯 高村まりさん



1「暖かくなったら、県民の森などに行きたいです。八幡平は子どもと遊ぶ場所が多いと思います」と高村さん。2人気が高いマグカップ。シンプルなデザインで、毎日使っても飽きがこない。3指を添えるとぎゅっと握り返してくる。一度握るとなかなか離してくれないときも。4寒い八幡平では、冬は粘土が凍る。温めて、柔らかくしてから使う。

たかむら まり

1988(昭和63)年、八幡平市出身。東北芸術工科大学芸術学部美術科工芸コース陶芸専攻卒業後、佐藤大寿氏、サトウアカネ氏に師事。2013年(平成25)、独立しtamari窯を構える。

tamari窯

八幡平市平館8-126-2 TEL 090-5185-6723

<https://www.facebook.com/tamari gama>

※工房にお出かけの際は、事前連絡を。

気配を感じられる距離に幸之介君と両親がいるので、安心して仕事に取り組める。

「母乳で育てたこともあり、最初は育児中心で、仕事に集中できませんでした。離乳が進んだいまは、仕事にかかれる時間が増えてきました」

結婚前と比べて作品づくりに使える時間が少ない。だが、ご主人や子どもと一緒にいる時間も楽しく、自分なりに仕事と家庭のバランスが取れていると感じている。幸之介君を見ていると、新しい気付きも多いとか。器づくりは粘土づくりから始まる。陶芸に使われる粘土は、水分を含むため、寒い冬の八幡平では凍るといふ。ろくろを回す前に粘土を温めて、柔らかくしなくてはならない。

「粘土も赤ちゃんもお世話が必要ですね」と高村さんは笑う。最近では離乳食用の食器などもつくり、新しい作品を増やしたいと考えている。

⑤ 美容室オリーブ



カット料金は大人3,300円、中高生2,200円、小学生1,650円、幼児1,100円(全て税込)。

ユニバーサルサービスやユニバーサルデザインを取り入れている美容室。障がい者のヘアケアやヘアカットも行っているほか、月1回(第4月曜)に障がい者の子どもを持っているお母さんたちのために「子育てこころのサポーター」を開いている。

■ 八幡平市大更21-22-3 ■ TEL 0195-76-5538
■ 営業時間／9:00～19:00(要予約)
■ 定休日／月曜、第5日曜

④ 安比塗漆器工房



手前から「ベビースプーン(3,850円)」、大人用の「半塗スプーン(3,080円)」「子供羽反碗(6,380円)」(全て税込)。

■ 八幡平市呷田230-1 ■ TEL 0195-63-1065
■ 営業時間／9:30～17:00 ■ 定休日／月曜、年末年始、臨時休業あり ※3月までは冬季定休日として日・月曜休み

八幡平市では出生届を提出した方に記念品として安比塗特製ベビースプーンを贈っている。本地は市内の平岡クラフト工房で製作されており、子どもの小さな手でも握りやすいように丸みを帯びたフォルム。成長しても使えるように丁寧につくられている。

① 食堂 むら重

先代まで大人用のカレーライスしかなかった。「お子さまカレー」は、楽しくておいしい思い出をつくってあげたいという気持ちから生まれたという。ライスの形は「うさぎ」と「飛行機」の2種類があり、そのまわりを甘いカレールウが囲む。



ジュース・おもちゃ付きの「お子さまカレー(660円・税込)」。

■ 八幡平市大更1-17-19
■ TEL 0195-75-0268
■ 営業時間／11:00～15:00、17:00～20:00
■ 定休日／12月31日・1月1日



あっちこっち

八幡平

気になるあの店この店

今回は、
子どもと一緒に
お出かけ情報



③ たかはし食堂



「お子様御膳(1,280円・税込)」は、彩りが良く、食欲がそえられる。

■ 八幡平市平館25-47-6 ■ TEL 0195-74-2232
■ 営業時間／11:00～14:00、17:00～21:00
■ 定休日／月曜

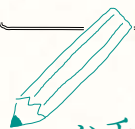
② サラダファームヴィレッジ 「ショップ&カフェ トムテの森」



りんごジュースが付く「トムテのお子様オムライス(780円・税込)」。

鶏ひき肉を使ったチキンライスをふわトロ食感のオムライスで包んだ「トムテのお子様オムライス」。オムレツの上にかけてられたケチャップは、サラダファームで栽培されたトマトを使った自家製で、旨味と酸味のバランスがよく美味。

■ 八幡平市平笠2-6-333 ■ TEL 0195-75-2525
■ 営業時間／10:00～16:00(ランチ11:00～15:00LO)
■ 定休日／水曜



ハチクラ vol.29 読者アンケート

問1

「ハチクラ」をどこで入手しましたか？

問2

本誌を入手した動機は何ですか？（複数回答可）

- 1 表紙に惹かれたから
- 2 内容がおもしろいから
- 3 八幡平市の観光に興味があったから
- 4 地元の情報を知りたかったから
- 5 無料だったから

問3

今号の記事でおもしろかったものを挙げてください
（複数回答可）

- 1 特集「えがおがいっぱい はちまんたい」
- 2 地域おこし協力隊の「気になる八幡平」
- 3 八幡平に生きる人
- 4 八幡平あっちこっち
- 5 ハチクラ通信（読者の声・プレゼント）
- 6 ビッキーと行く八幡平

問4

「ハチクラ」へのご感想・ご意見をお書きください

今号の「ハチクラ」はいかがでしたか？

今後、充実した内容にするため、
皆さまの声をお聞かせください。

プレゼント

本ページのアンケートに回答してくださった方に
抽選でプレゼント！ ふるって応募してください。

1

飲食店の食事券3,000円

※むら重、サラダファーム・トムテの森、たかはし食堂のいずれか1店で1回使用できます。



2名様

2

安比塗漆器工房「ベビースプーン」

※写真内手前のスプーンがプレゼント賞品となります。



1名様

次号のハチクラ vol.30は
2021年6月25日発行予定

八幡平をもっと
楽しむためのフリーマガジン **ハチクラ**

2021.Vol.29 令和3年3月25日発行

企画・発行・問い合わせ先 八幡平市商工会
岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040
<https://www.shokokai.com/hachimantai/>

印刷所 川口印刷工業株式会社

■本誌に掲載している情報は、2021年3月10日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。
■本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

プレゼント & アンケートの送り先

官製はがきに以下のことを記入し、ご応募ください。
FAXでも応募OK！

- ① ご希望のプレゼント（ご希望の店名をご記入下さい）
- ② アンケートの回答
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

■ 送り先

〒028-7111 岩手県八幡平市大更35-63-85
八幡平市商工会「ハチクラ」係
FAX 0195-76-2145

■ 応募締切

2021年5月14日（金）当日消印有効

当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
今回ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

読者の声

ハチクラ28号に寄せられた
読者からのコメントを紹介。

● 八幡平市の自然のすばらしさは知られていますが、食材もいろいろと開発されていることを知った特集で、勉強になりました。手作りの味を大切にしたいですね。
（盛岡市 Y・S）

● 昨春秋、岩手山に登るために来ました。その折、道の駅で貴誌を入手。このような冊子があることでそれぞれの地域の良さが分かり、地域の発展のために尽力されている方々のことを知り、感心させられます。
（静岡県 Y・N）

● 「地域おこし協力隊の気になる八幡平」の記述に、八幡平市は四季の変化に富み、見どころが多いとありました。今さらながら気づかされ、新たな興味を喚起されるのは、県民にとってちょっとした喜びです。
（盛岡市 Y・S）

● 友人が八幡平市にハマる理由が、ぎゅうーっと詰まった冊子でした。
（青森県 M・I）

会員募集中！

● 7年前に関東から移住しました。「ハチクラ」は創刊号から愛読しています。地域情報と観光のバイブルとして読んでいます。
（八幡平市 Y・S）

■ 入会費・年会費は無料

■ 特典

- ① ハチクラの最新号やバックナンバーをお手元にお届けします。
- ② ハチクラツアーなどのイベントをご案内します。
- ③ ハチクラグッズの企画がある場合に先行予約などを受け付けます。

■ 入会方法

希望の方は、メールでのみ受け付けます。
件名に「ハチクラメンバー希望」、メール本文に住所、氏名、年齢を記入し、送信してください。確認後、2～3日中にメールを返信します。

送信先 hachikurafan8@gmail.com

back number

バックナンバーのご案内

「ハチクラ」バックナンバーのお求めは……

下記までご連絡ください。

送料のご負担をお願いいたします。

連絡先

八幡平市商工会
TEL 0195-76-2040
（受付時間／平日9:00～17:00）



hachikura stay

「ハチクラ Stay」公開中！

八幡平をもっと楽しむための体験型プラン「ハチクラ stay」が始まりました。ハチクラが紹介する魅力ある自然や風景、暮らしや人に触れながらステキな旅をしてみませんか。

問い合わせ先
トラベル・リンク株式会社

<http://travel-link.jp/archives/17682>



ビッキーと行く 八幡平

「子どもたちと風船あそび」

撮影地／松尾寄木



撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM、ORCA DESIGN 代表

寄木学童保育クラブを訪問したビッキーは、子どもたちの元気で楽しそうな声に誘われて一緒に風船あそびに夢中になっていました。ビッキーの登場で子どもたちも大興奮！みんな、楽しい思い出できたし、夜はぐっすりだね。



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。
その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。
「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。